

## 家庭教育支援チーム・サポーター養成講座② 実施レポート

「地域の状況に応じた支援のかたちを考えよう」というテーマのもと、県内3地区でサポーター養成講座を行いました。前半は、各教育事務所に所属する社会教育アドバイザーが講話を行いました。後半は、近隣の市町村同士で情報交換を行いながら、自分たちのチームの活動をよりよくする方策について話し合いました。

### 【県北地区会場：北秋田市ふれあいプラザ・コムコム】

日時：平成30年8月30日（木）10時～12時

参加者：24名（うち市町村等から19名）

最初に、北教育事務所の成田葉子社会教育アドバイザーから、「地域の温かさの中でつなぐれ・つなぐれ」という演題で講話をしていただきました。成田アドバイザーは、学校などでみられる具体的な子どもの姿から、「子どもの元気がでなかつたり寂しかつたりする背景には、“子育てに専念するゆとり”や“社会とつながる余裕や機会”が失われている保護者の実態や家庭教育の現状がある」ことを指摘されました。また、子どものみならず子育てに悩んでいる保護者にも温かさをもって接することで、**自己肯定感を感じてもらうことが重要**であると話されました。県北地区の家庭教育支援チームの活動事例として、**能代市の「あそびのひろば・ぱれっと」**が紹介されました。



<成田アドバイザーの講話の様子>

### 【中央地区会場：秋田県生涯学習センター】

日時：平成30年9月6日（木）10時～12時

参加者：24名（うち市町村等から20名）



<小助川アドバイザーの講話の様子>

中央教育事務所の小助川澄子社会教育アドバイザーの講話では、インターネットセーフティや児童虐待、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣などに関する話題が提示され、保護者が子育てで悩む今日的課題について認識を共有しました。特に「ほめ方・しかり方が分からない」という保護者も増えているなかでは、「不安をあおったり周囲の心配をあおったりするような**“ちくちく言葉”**ではなく、子どもの心に寄り添い安心や期待をふくらませる**“ふわふわ言葉”**で接することが重要」という指摘に、会場の受講者は大きくうなずいていました。中央地区の家庭教育支援チームとして**男鹿市・にかほ市**が紹介され、また**五城目町**で展開されている家庭教育支援の活動事例も紹介されました。

### 【県南地区会場：秋田県立近代美術館】

日時：平成30年9月13日（木）10時～12時

参加者：21名（うち市町村等から17名）

南教育事務所の鈴木美津子社会教育アドバイザーからは、「**地域**の力で家庭や子どもを支える」という演題で講話をしていただきました。講話では、NHK『ママたちが非常事態!』という番組の動画を視聴し子育てに悩む保護者の実態を理解したり、アドバイザーが子育て講座で行っている『おかあさんだいすきだよ』という絵本の読み聞かせを体験したりしました。また、県南地区の家庭教育支援チームとして、**大仙市の就学時子育て講座**の事例や**湯沢市の「和輪人（わわっと）」**の取組が紹介されました。鈴木アドバイザーは、今後家庭教育支援チームに期待することとして「**コミュニティ・スクールへのかかわり**」を挙げ、家庭教育支援体制を充実させていくことの重要性を強調されました。



<鈴木アドバイザーの講話の様子>

### ※3 地区で行った演習（グループワーク）について

今回の演習は、前半と後半に分けて実施しました。前半は、市町村混合のグループでそれぞれどのような取組をしているか、どのような課題があるかなどについて情報交換を行いました。後半では、市町村ごとになり、前半で出された意見を持ち寄って、自分たちの地域やチームに取り入れられるようなヒントはないか、自分たちの活動をよりよくするための方策などについて話合いました。

ある地区で、「先日行った事業への参加者が3組の親子だけでした。参加者が少ないことが課題です」という方がいました。すると、他のチームの方が「3組も参加者がいる事業を実現できているなんて素晴らしいですね！」とこたえる場面がありました。外部からの声が励ましや刺激となり、お互いの活動について知るきっかけにもなったようです。最後に、各グループでの話合いをワークシートにまとめ、発表する時間を設けました。どの地区のどのグループの発表も、活発な意見交換の成果が凝縮された形となりました。



<県北地区のグループワークの様子>

外部からの声が励ましや刺激となり、お互いの活動について知るきっかけにもなったようです。最後に、各グループでの話合いをワークシートにまとめ、発表する時間を設けました。どの地区のどのグループの発表も、活発な意見交換の成果が凝縮された形となりました。



<中央地区での発表の様子>



<県南地区での発表の様子>

#### 【参加者の声】（抜粋）

- ・優しい気持ちになって、次も取り組めると思いました。
- ・やる気が出てきました！
- ・一歩前に踏み出せなかった部分をあと押ししてもらえた気がします。
- ・問題を抱えた方がたくさんいる事に驚き、他のグループの方の活動に感服しました。
- ・最初に他市町村との情報交換、その後すぐに市町村毎にグループワークを行うことで、情報が新鮮なうちに今後の活動を相談することができ、大変良かったです。
- ・「おやじの会」の活動を考えていた時期だったので、頭の中を整理できたしヒントも得られました。
- ・新たな活動交流のヒントをもらいました。
- ・行政担当者同士、内容の濃い話をすることができました。ゆっくりじっくり取り組むことができました。